

【移植栽培】 令和5年度 えんだま栽培・防除暦

枝豆生育 ステージ	重点目標	ポイント	使用資材・機材 (10a当 基準量) ★は必須資材	補足資料
【圃場準備】 ・除草 ・耕起 ・元肥 ・畝立てマルチ	・定植予定の1週間前には畝立てマルチ	<ul style="list-style-type: none"> 排水性が高く、周囲から水をもらわない圃場選定と余裕をもった圃場準備を！ △原則、溝切が必須 雑草の程度により耕起前の除草剤散布を推奨 元肥は定植の1～2週間前に混和(前作により加減) ※『ミネラル三昧』などの追加使用も推奨 ※生分解性マルチ利用による省労力化を推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ★ゆきの子 1,000ℓ ★枝豆専用肥料 80kg ★苦土炭カル 120kg ★米ぬかベレット 60kg ★ダイアジン粒剤 6kg ★黒マルチ120cm幅 3～4本 ★デュアルゴールド 右記参照 	<p>マルチ張り作業(デュアル同時処理)  溝切 </p> <p>★ダイアジン粒剤(殺虫) 【元肥と共に全面散布し混和・ネキリムシ・フタスジヒメハムシほか】</p> <p>★デュアルゴールド(雑草抑制) 【マルチ作業同時 70～130ml/1回まで】</p>
【播種育苗】 ・播種～催芽 ・かん水	・成苗率を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・トレー1穴に2粒播き(早生品種) ・播種後、3晩吸湿(低温期は被覆保温) ・吸湿後、ハウスに展開し被覆 ・地温は15～30℃を維持(培地に温度計設置) ・高温時は換気とかん水で苗ヤケ回避 △高温状態が半日続くとアウト！ 	<ul style="list-style-type: none"> ★種子(約2,000粒入) 6袋 ★セルトレー128穴 45枚 ★育苗箱 45枚 ★枝豆専用培土(40ℓ) 5袋 ★被覆資材 ミラシートシルバークラップ等 	<p>～3晩の吸湿保管～</p> <p>播種作業  ハウスに展開～被覆管理 </p>
【移植】	・適期定植	<ul style="list-style-type: none"> ・早生品種:株間20～25cm ※低温期の移植では不織布などで霜除け被覆 《移植直後～4葉期までに除去》 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行移植機(往復2条) ・乗用移植機(片道2条) ・不織布(バスライク等) 	<p>定植適期(早生)  歩行移植  乗用移植 </p>
移植後 ～ 5葉期	・初期除草 ・早期防除	<ul style="list-style-type: none"> ・フタスジヒメハムシは生育ステージ全般で食害するため早期の発見と防除を心がける △マルチ穴からの雑草は早目に手除草 (大きくなると除去不能) ・畝間の除草は出播期に中耕培土や除草剤処理 	<ul style="list-style-type: none"> ■アグロスリン乳剤(殺虫) 【2,000倍/7日前/3回まで】 ※注① 畝間除草剤 ※注② 中耕管理機 	<p>フタスジヒメハム  培土用トラクター </p>
開花直前 ～ 開花始期	・適期の追肥 ・適度な摘芯	<ul style="list-style-type: none"> ・本葉5～6葉期から開花始期までの草丈で摘芯要否を判断し、必要があれば実施(倒伏防止) ・1花でも開花したら開花始期 △開花始期から5日以内に追肥判断！ ・開花前に株間除草(手作業)と畝間除草(除草剤) △開花後の中耕培土は根を傷めるので不可× 	<ul style="list-style-type: none"> ・手押し摘芯機 ・NK化成 20kg (生育量によって加減) ※注① 畝間除草剤 	<p>手押し摘芯機  NK化成 </p>
花おさまり期	・防除の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・各害虫に狙われやすい時期 発生前の予防、発生ごく初期の防除が効果的 ・草丈によっては最終摘芯を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ■マラソン乳剤 【1,000倍/7日前/3回まで】 ・手押し摘芯機 2回目 	<p>アオクサカメシの成虫と卵  マメハンミョウ </p> <p>コガネムシ類  アブラムシ類 </p>
莢伸長期	・湿害干ばつの回避	<ul style="list-style-type: none"> ・豆の肥大期にあたり、適切な圃場水分の維持 干ばつなら灌水、多湿なら排水 ・雑草の勢いが出る前に除草剤を処理 ※開花後の中耕培土は根を傷めるので× 	<ul style="list-style-type: none"> ■スタークル顆粒水溶剤 【2,000倍/7日前/2回まで】 + ■ゲッター水中和剤 【1,500倍/7日前/3回まで】 + ■展着剤(ハイテンパワー) ※注① 畝間除草剤 	<p>畝間の滞水  排水路の確 </p> <p>畝間を排水につなぐ</p>
・収穫 15～20日前	・仕上げの追肥	・収穫までの樹勢維持と食味向上の追肥	・NK化成 20kg (定量施肥)	NK化成 
※莢のサイズが決まったころ	・最終防除	・収穫直前に品質を落とさない為の仕上げ防除を！ (葉や莢の食害回避、虫の混入軽減)	<ul style="list-style-type: none"> ■アグロスリン乳剤 【2,000倍/7日前まで/3回】 + ◆液肥(食味向上) 乳酸菌発酵液 など 	ウコンノメイガの被 

※注① 畝間除草剤・・・【ザクサ(バスタ) 反当300～500ml/14日前まで/合計3回以内】 【ラウンドアップマックスロード 反当200～500ml/前日まで/3回以内】 ※注② 中耕管理機・・・ 畝間(培土用トラクター)

日々、圃場を眺めることが良品生産への第一歩です。気になることや不明点はお気軽にJA担当までお尋ねください！